

平成12年3月1日

中高年男性のボランティアグループ『長崎白の会』 密着ドキュメント、区広報番組で放映スタート

料理を通じて地域福祉に貢献する中高年男性のボランティアグループを密着取材したドキュメント映像を、としまテレビ（ケーブルTV）コミュニティチャンネルの区広報番組「こちら豊島区役所です！」で、今日1日より放映する。

このボランティアグループ『長崎白の会』は、区長崎保健所で平成8年より毎年開催している中高年男性のための料理教室「あつまれエプロンおじさん」の参加OBによって、平成10年8月に結成された。現在のメンバーは50代から70代の11名の男性。

当初保健所では、料理になじみの薄い中高年男性のための栄養・健康指導のひとつとして料理教室を企画・開催した。ところが、参加者たちの地域活動への参加意識が高かったため、料理教室終了後、保健所が開催する各種福祉事業への協力を呼びかけた。これに応え、平成9年、引きこもりがちなお年寄りを保健所に1日招待する保健所事業「星に願いを」に初めて料理ボランティアとして参加した。以後、料理を中心に、高齢者の保健所への送迎や訪問、各種高齢者事業への協力と活動を広げている。

今回の『白の会』密着ドキュメントは、こうした中高年男性たちによる料理ボランティアというユニークな活動を広く区民に伝えようと、区広報番組「こちら豊島区役所です！」の中の特集コーナー（13分）映像として自主制作された。

映像では、『白の会』の「活動日誌」として、昨年5月に開催された「星に願いを」での料理ボランティア参加の場面から12月の「望年会」までの約8ヵ月の活動を紹介する。メンバーたちの日頃の活動を追いながら、「自分ができる時にできることをする、無理をしないのが長続きの秘訣」といった片肘はらないボランティアへの取り組みや、自分たちの生活や考え方の変化についてメンバーたちの生の声を伝える。「表に出ても、今までだったら知らんぷりだったけど、お年寄りを目で追うようになった」「結構色々教わって、会うのが両方で楽しくなる」というコメントからは、「住みやすい地域づくり」を目指すメンバーたちの想いが伝わってくる。

会の名称『白の会』は、それぞれのお年寄りに合わせて、どんな色にも染まりましょうという意味でつけられた。今後の『白の会』の活動がどんな色に染まっていくか、高齢化が進む地域社会の中で住民同士のふれあい、助け合いの新しいかたちを考えるドキュメントとなっている。

◆区広報番組「こちら豊島区役所です！」は、地元ケーブルテレビ（としまテレビ）のコミュニティチャンネルで毎日4回放映されている30分番組。そのメインの特集コーナー「としま区スペシャル」は、区政に関するテーマや区に縁の題材等を中心にとりあげ、放送後もビデオ作品として長く活用を図っていく。

今回の『白の会』密着ドキュメントの放映は、今日1日から3月15日まで半月間。

なお、区広報課で制作した番組のビデオ貸出しも行っています。（映像担当まで）

詳細：広報課・映像担当